

わたしたちのまわりには いろんな人がくらしています。

- n目が見えにくい人
- n耳が聞こえにくい人
- n車いすを使っている人
- nからだの中のはたらきがうまくいかない人
- n気持ちや考えをうまく伝えられない人

など、「ふべん」を感じている人がいます。



このポスターは、 何のマークを書いたもので しょう?

くらしの中でふべんを感じたり、 こまったりすることがあることを 「しょうがい」があるといいます



まわりの人の<mark>おてつだいやくふう</mark>などで くらしやすくなる人がいるはずです。

## ヘルプマーク



外からはわからなくても 助けがひつような人ための マーク。

## みんながくらしやすい「社会」になるために。

目に障がいのある人が、 えきのホームを安全に いどうするためには どうすればいいでしょうか?





ホームドア、 かどうしきホームさく をせっちする。





みんながくらしやすい「社会」になるために。

しょうがいのある人もないひとも、 みんながくらしやすい社会にしていくには、 だれもがくらしやすいかんきょうづくりが 大切です。

皆さんの身近なところではどうでしょうか。

また、自分たちには何ができるのか、 かんがえることも大切です。









「ふべん」をかんじているひとがいたら、 「お手伝いしましょうか」と声をかけましょう。

しょうがいはまわりのかんきょうで変化します。 しょうがいのある人が、 くらしやすい工夫についても考えてみましょう。